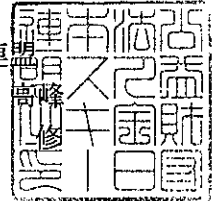


SAJ27 競第 715 号  
平成 27 年 5 月 29 日

加盟団体  
アルペン競技担当者各位

公益財団法人全日本スキー連盟  
アルペン部長 岩谷 児玉  
ルール・公認・施設小委員会委員長



### 2015/2016 シーズンアルペンマテリアルルール変更について (通知)

日頃より、競技本部の活動に対してご尽力をいただき心からお礼申し上げます。  
さて、標記について5月24日の平成27年度春季アルペン部技術・運営委員会において  
審議され決定いたしましたので下記についてご確認の程何卒宜しくお願い致します。

#### 記

##### 1. ヘルメットについて

2014-2015シーズンはSAJA・B級大会(チルドレンカテゴリーは除く)においては  
新規規格ヘルメットの着用は推奨となっておりますが、2015-2016シーズンは着用  
が義務となります。

※新しい規格のヘルメットとは、FIS 新規規格に対応し FIS 対応ステッカーなどにより明示されてい  
るもの。

※このヘルメットルールは、DH・SG・GS 競技に適用されます。

##### 2. U16、U14 の競技スキーについて

2015/2016 シーズンの U14/U16 の競技スキールールの変更に伴う SAJ の対応については「ル  
ール通りとする」となっておりますが、一部変更となりました。

U14/U16 の SG 種目の競技スキーについては 2015/2016 シーズンは推奨となります。U14/U16  
の SL、GS 種目の競技スキーについてはルール通りとなります。

※別表参照

以上

2015/2016シーズン スキー用具に係る国内運用ルールについて

SAU競技本部 フェルベック技術・運営委員会 2015年5月24日決定事項

種目	DH		SG				GS		SL	
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子		
12.1.22 ビンディングより前方部分の最大スケー	≤90mm	≤90mm	≤95mm	≤95mm	≤103mm	≤90mm	≤90mm	≤90mm	≤90mm	
12.1.21 ビンディング後部分の最も短い部分の幅	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	≤65mm	
カテゴリー/大会	①スケー長は最短の長さ CM(センチメートル) ※U14/U16 GSは最大スケー長									
	②ラゲックス(R) 最小値 M(メートル)									
GOO	コンチネンタルカゴア	スキー長 210 ラゲックス 50	スキー長 205 ラゲックス 40	スキー長 210 ラゲックス 45	スキー長 188 ラゲックス 30	スキー長 195 ラゲックス 35	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 165	スキー長 165
FIS/NC	FISL-ス 全日本スキー選手権	スキー長 205 ラゲックス 50	スキー長 200 ラゲックス 40	スキー長 205 ラゲックス 45	スキー長 183 ラゲックス 30	スキー長 190 ラゲックス 35	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 165 ※1	スキー長 165
SAJ-A級	インカニ 学生チャンピオン	スキー長 200 ラゲックス 40	スキー長 200 ラゲックス 40	スキー長 205 ラゲックス 45	スキー長 183 ラゲックス 30	スキー長 190 ラゲックス 35	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 165 ※1	スキー長 165
	インカニハイ・高校選抜 (高校1年生を主体とする)	スキー長 200 ラゲックス 40	スキー長 200 ラゲックス 40	スキー長 205 ラゲックス 45	スキー長 183 ラゲックス 30	スキー長 190 ラゲックス 35	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 165 ※1	スキー長 165
SAJ-B級 (中学校・高校生)	全選手共通 (中学校・高校生を主体とする)	スキー長 205 ラゲックス 50	スキー長 200 ラゲックス 40	スキー長 205 ラゲックス 45	スキー長 183 ラゲックス 30	スキー長 190 ラゲックス 35	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 165 ※1	スキー長 165
	チルドレンレース (SAJ-B級) 全国中学 ジュニアオリンピック 全日本ジュニア選手権SG (中学生の部)	スキー長 205 ラゲックス 50	スキー長 200 ラゲックス 40	スキー長 205 ラゲックス 45	スキー長 183 ラゲックス 30	スキー長 190 ラゲックス 35	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 155 ラゲックス 95	スキー長 165 ※1	スキー長 165
スキー高	スキー板+プレート+ビンディング	※1 : U18(18歳未満/Junior)SLにおいては、-10cmの許容差を認める ※2 : スケー長は(-+10cmの許容範囲)が認められる								
ブーツ高	スキー板+プレート+ビンディング	50mm 全種目、全カテゴリー、男女共通								
ヘルメット	すべてのハードおよびソフトヘルメットを含む ヘルムの底部からスキーブーツソールまでの間隔	43mm 全種目、全カテゴリー、男女共通								

15-16シーズンはSAJ-A級大会・日級大会(チルドレンカテゴリーは除く)は、新規格のヘルメット着用を義務付けとする。  
新規格ヘルメットには、新規格対応表示(FIS新規格対応スネッカーなど)が明示されていない場合は認められない。新規格ヘルメットルールはDH, SG, GS競技に適用される。

※ 本書はラゲックスによる伝達を禁じます。

FIS競技用品ルールの抜粋

1.2.1.1	<b>スキーの長さ(最短長)</b>  ★最短長とは最も短い長さを言う  ※ DH/SG/GS: FISレースのみ-5cm許容差を認める。  ※ SL: 男子U18(ジュニア1)においては、FISレースにおいてのみ、-10cmの許容差を認める。	ワールドカップ	W C	FIS		
		ヨーロッパカップ	E C			
		コンチネンタルカップ	COC			
		世界ジュニア選手権	WJC			
		五輪冬季大会	OWG			
		世界選手権	WSC			
		滑降 DH	女子		210	205
		滑降 DH	男子		218	213
		スーパーG SG	女子		205	200
		スーパーG SG	男子		210	205
大回転 GS	女子	188	183			
大回転 GS	男子	195	190			
回転 SL	女子	155	155			
回転 SL	男子	165	165			
U-18男子のみ-10cm許容差を認める↑						
1.2.1.2.1	<b>ビンディング下部分のスキーの幅</b>  いわゆるブーツセンター位置など、スキーの幅の最も狭い部分の値	滑降 DH	女子	65mm以下		
		滑降 DH	男子	65mm以下		
		スーパーG SG	女子	65mm以下		
		スーパーG SG	男子	65mm以下		
		大回転 GS	女子	65mm以下		
		大回転 GS	男子	65mm以下		
		回転 SL	女子	63mm以上		
		回転 SL	男子	63mm以上		
1.2.1.2.2	<b>ビンディングより前方部分のスキーの幅</b>  先端からトゥピースまでの間で最も広い部分の幅長	滑降 DH	女子	95mm以下		
		滑降 DH	男子	95mm以下		
		スーパーG SG	女子	95mm以下		
		スーパーG SG	男子	95mm以下		
		大回転 GS	女子	103mm以下		
		大回転 GS	男子	98mm以下		
		回転 SL	女子			
		回転 SL	男子			
1.2.1.2.1	<b>ラディウス(最少弧)</b>	滑降 DH	女子	50 m		
		滑降 DH	男子	50 m		
		スーパーG SG	女子	40 m		
		スーパーG SG	男子	45 m		
		大回転 GS	女子	30 m		
		大回転 GS	男子	35 m		
		回転 SL	女子			
		回転 SL	男子			
2.1.2	<b>スキー高 (スキー/プレート/ビンディング)</b>	50 mm 以内				
3.2	<b>スキーブーツ</b> ブーツ底面からヒールのベースまでの間 (すべてのパーツを含んだ高さ)	43 mm 以内				